令和５年度　第３回　学校運営協議会

令和６年１月10日(水) 15：30～16：00
神奈川県立旭高等学校　会議室

委員：渡辺 道子、佐藤 豊、北瀬 淳子、阿部 力、萬谷 恵三子、増田 嘉一郎
校長：広瀬 邦彦　副校長：桐谷 鋼哉　教頭：渡辺 克己
職員：田中 成美(教務G)、金澤 佳子(生活指導G)、佐々木 悦郎(進路支援G)、
渡邊 健(広報G)、五反田 淳(管理運営G)

１．開会挨拶
２．校長挨拶
昨年は皆様のご協力のもと50周年式典を無事におわれた。年始には能登半島で大きな地震が起こった.が、本当に何があるかわからない時代だと感じている。今年もよろしくお願いします。
３．資料確認
４．協議
授業参観振り返り（意見交換）
北瀬：まず黒板を使わない授業にびっくりした。学校の授業もずいぶん変わってきた。いまの子どもたちはタブレットの普及が進んでおり、小学生から持つのがあたりまえになりつつある。とても勉強になった。
佐藤：授業の手法の変化は大きく ICTとアクティブラーニングがある。ICTは機材が整わないといけない部分があるが、大学ではかなりシステム化している。将来的には中学・高校にも降りてくるのではないだろうか。ただアナログとデジタルの融合が重要であり、双方の有用性を。アクティブラーニングにおいては、従来の授業は説明しっぱなしになるところだが、生徒から引き出す。内容については、その教科のおもしろさをどこまで生徒に与えられるか。実生活などと合わせてテーマ設定できるか。楽しさを大事にした問いを投げかけていく必要がある。
萬谷：服装が自由だなと感じた。その中でも授業にしっかり参加している人が多い。生徒を呼び捨てにしているのはどうなのか。
増田：数学と論理表現ではICTを活用しており良かった。授業の準備が大変そう。

創立50周年周年記念式典（御礼）
校長：概ね成功だったと感じている。生徒たちは心に残る言葉を多く頂いた。歴史があり色んな人がこの学校に関わっていることを実感してもらえれば。前刀氏の講演は生徒が強く関心を持った。「～したい」から「～する」に変える、というお話など、将来のことについてとても学びになったのかなと。また、パイプオルガンの演奏やダンス部・音楽クラスの合唱なども良かった。特に最近は校歌を歌う場面が減ってきた。音楽クラス以外は歌うことがほぼない。みんなで歌えるといい。統廃合が決まり残り３年となる。いい区切りになったと思う。また同時に子どもたちの教育環境を整備することもできた。40周年のときは同窓会がなかったが、10年たってこの形として迎えることができ良かった。

５．閉会